



『エンジョイ・ロータリー・ライフ』
～Enjoy Rotary Life～
東京六本木ロータリークラブ会長

TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

東京六本木ロータリークラブ



『ロータリーの未来は
あなたの手の中に』

～The Future of Rotary is
in Your Hands～

国際ロータリークラブ会長

発行日 2009年11月16日

No. 16

本日のプログラム

平成21年11月16日

卓話『百貨店の店頭から見た最近の消費動向について』

J.フロントリテイリング株式会社 代表取締役社長兼CEO
奥田 務 様

プロフィール

1939年	三重県生まれ
1964年3月	慶應義塾大学法学部 卒業
1964年4月	株式会社大丸 入社
1991年9月	株式会社大丸オーストラリア 代表取締役
1997年3月	株式会社大丸 取締役社長
2003年5月	同社 取締役会長兼CEO
2007年9月	J.フロントリテイリング株式会社 代表取締役社長兼CEO 〔主な公職・社外役職〕
2002年5月	日本百貨店協会 副会長(現任)
2005年5月	社団法人関西経済連合会 副会長(現任)
2007年5月	社団法人日本経済団体連合会 評議員会副議長(現任)



クラブからのお知らせ [11月9日例会]

●会長

本日は松平様の卓話を楽しみにしております。
また例会後、IMがありますのでどうぞ宜しくお願ひ致します。

●副幹事

- 2750地区山の手東・西グループ合同のIM開催のお知らせ
- ポリオ撲滅チャリティーコンサートのお知らせ
11月16日、ヒルトン東京にて開催
- ロータリー情報委員会アンケートのお願い
- 青年海外協力隊カレンダー購入のお願い

●新世代委員会

- 六本木中学校インターンシップ報告と御礼
11月5日・6日、工藤会員の会社と山中会長の学校で3名の生徒さんを受け入れて頂きました。
ありがとうございました。



東京六本木ロータリークラブ

TOKYO
ROPONGI
ROTARY CLUB



平成21年10月19日

『クリエイティブを束ねる』

空間メディアプロデューサー

株式会社 現代芸術研究所 代表取締役

平野 晓臣 様



空間メディアというのは僕の造語で、意味は字義どおりメディアとしての空間です。イベントもミュージアムもテーマパークも空間そのものがメディア。そういう空間をつくるお手伝いをするのが僕の仕事です。プロデューサーとしてプロジェクトを束ねていく際、大切なのはクリエイティブであること。今日はクリエイティブなプロジェクトには何が大切かという話をさせていただきます。

クリエイティブなプロジェクトには4つの性格があると思います。パーソナル、プラジャエル、フラット、ノンリニアです。ソフトプロジェクトでは何をつくるか以上に誰がつくるか、誰とつくるかが大事です。作り手の資質、美意識に依存せざるを得ないんですね。だから極めてパーソナルである。

プロジェクトを始めるとき、プロデューサーである僕は各分野を担当する責任者を選び、あとは各司令官に任せることで、ソフトなプロジェクトではその組み合わせが大切です。司令官はみんな一流のクリエイターですから自分の流儀を持っています。それをうまく組み合わせることができれば、お互いに触発し合ってプロジェクトはステップをかけ上っていきます。問題はそうやってつくられた臨時チームには絶対的な統制原理がないこと。彼らが繋がっているのは、彼ともう1回仕事がしたいとか彼の仕事は面白かったというリスペクトな感覚。ソフトなプロジェクトはその感覚を持ったどうしてやる方がうまくいくんです。しかしそれにもリスクはあります。いつも同じ顔触れでは無意識のうちに成功体験をトレースしたくなる。そうならないためには新しい血を入れること。それもまたリスクがありますが、リスクのないところに成果

はない。ソフトなプロジェクトは非常に脆弱、プラジャエルなものなんですね。

プロジェクトがスタートしたあと、僕は個々の分野で戦う司令官の動きを見ながら、再度全体としてどういう形がいいかを考えます。司令官相互の触発で新しいアイデアを生み出すには、最初に作った完成形をそのまま目指すのではなく、建築のように設計図にある完成形に向けてリニアに進むのと違って、ソフトなプロジェクトはどんどんアイデアが膨らんでいく方がいいんです。そういう意味でノンリニアです。

4つ目、建築は基本的に縦割りで、仕上げ工事のグレードを上げたいから電気工事やめようなんてありえないわけですが、ソフトな場合は全てが一つの調整土俵の上に乗っています。例えば企業のイベントで、創業100年だから顧客に100年前のビンテージワインを飲んでいたく代わり、今回は装飾もイベントも無しということだってあります。フラットだということです。

僕は、これからはソフトなプロジェクトの時代だと思います。ソフトで緩やかな関係、対等でオープンな関係の中で刺激し合って新しいものを生み出す。それがうまくいかどうかはそういう連中を束ねられるかどうかにかかっています。今日の拙いお話を参考にしていただければ幸いです。ありがとうございました。





2009年11月9日 山の手東・山の手西グループ合同 インターナショナルミーティング

今年度のインターナショナルミーティング（IM）は山の手東・山の手西グループの合同開催で、全20クラブが青山ダイヤモンドホールにて一堂に会しました。

地階には各クラブのブースがあり、奉仕状況への取り組みを展示し、活動を実際に目でみて、確認するという機会がありました。

チャリティオークションでは、長さ1.5m以上はあろうかというウミガメのはく製や、100年以上の年月を経たワインなど、ユニークな出品もあり、賑やかさを演出していました。

IMは鎌木 亨、原田 久の両ガバナー補佐の開会点鐘で始まり、久邇ガバナー挨拶の後、各クラブのユニークで、有意義な奉仕活動が報告されました。当クラブの活動報告は安井悦子奉仕プロジェクト委員長により行われ、社会奉仕活動として取り組んでいる「六本木クリーンアップ」や環境保全活動から始まった、地域学校支援などの地域への奉仕活動報告がなされ、大きな拍手を頂きました。

市川伊三夫地区研修リーダーからは都心クラブだからできる、人を集められる奉仕活動。資金面だけの奉仕活動ではなく、実際に行き、見て、行う奉仕活動をすること。姉妹クラブ、地域のクラブと共同でより有意義な奉仕活動をすること。国際的な奉仕活動の面ではアジアばかりでなく、アフリカにも目を向けて欲しい旨の講評がありました。

つづく三宅久之氏の講演は、鳩山家の裏話、民主党政権の弱点、自民党の先行きなどを独特な取材ソースとユーモラスな語り口で興味深く聞くことができました。

今回のIMは20クラブが、それぞれに意味深い活動をしているなど実感することができ、今後の当クラブの活動にも参考になるものがあると感じました。

最後に安井さん、ご出席の皆様お疲れさまでした。



2009年10月31日 「エンジョイ・ゴルフ」

10月31日(土)快晴の一日、有志12名で片岡雅敦会員の経営する『葉山国際カントリー倶楽部』に於いて「エンジョイ・ゴルフ」を楽しみました。

ロンドンより一時帰国された脇若さんと、トーナメントプロの日向誠氏と葉山国際カントリー倶楽部のヘッドプロ丸山仁義氏にも参加していただき、熱の入ったプロアマ対決(?)で終日コースに賑やかな笑い声が響く楽しいラウンドでした。

パーティでは高級レストランのディナーメニューに負けない豪華なお料理に舌鼓を打ちながらこちらでも舌戦が繰り広げられました。

また、帰りには片岡さんがご用意くださったお土産のその箱の大きさに皆「!!?」

中身は『三浦野菜の詰め合わせ』、新鮮な野菜がたくさん…大根、白菜、さつまいも、長ネギ、ニンジン、キュウリ、トマト、ラディッシュ、インゲン、etc。

スポーツの秋に加えて、実りの秋まで堪能できた素晴らしい一日でした。

片岡さんのご厚意に深く感謝申し上げます。大変大変お世話になりました。





■ ニコニコBOX情報

宇佐見 千嘉さん

秋も過ぎそろそろ冬らしくなってまいりました。本日は卓話を楽しみにさせていただいております。

小西 恭子さん

松平恒忠様の卓話を楽しみにさせて頂いております。

大橋 寛治さん

松平恒忠様、本日は卓話をお引き受けいただきありがとうございます。楽しみに聞かせていただきます。

中川 勉さん

そろそろ都会も秋もようです。

山中 祥弘さん

松平様の卓話よろしくお願ひします。

齋藤 明子さん

毎年同じコメントで申し訳ありませんが…。食欲の秋到来! 食べ歩きに行きましょう!

浅田 豊久さん

青年海外協力隊カレンダーのご支援を念じて。

苅田 吉夫さん

巨人軍が日本シリーズに快勝し、松井がMVPをとり、久しぶりに胸がスッキリしました。

安井 悅子さん

本日はIMに参加準備の為、例会を途中退席させて頂きます。

松本 智さん

11月に入ってもまだ暖かいですね。先日札幌に出張しましたが、あちらも暖かく、温暖化が心配です。

渡邊 滋さん

あいかわらず不景気ですね。
「月天心貧しき町を通りけり」 与謝蕪村



11月9日

合計 93,000円

累計 1,020,000円

卓話者の松平恒忠様からご寄付を頂きました。

■ 次回のプログラム

平成21年11月30日
『歓談の日』

11月9日の例会出席率(暫定)

例会出席者数 38名

例会出席率 79%

例会参加者数 40名

* メーキャップを含めていない暫定の人数です。

東京六本木ロータリークラブ

会長 山中 祥弘 幹事 三田 大介

広報・週報委員長 片岡 雅敦

広報・週報副委員長 渡辺 美智子

事務局)〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3 グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>